

□■養成所ニュースプラス第 23 号 2024□■

第 36 期の皆さん 2 学期のレポート作成お疲れ様でした。今日の消印までが有効です。手元にある方は、郵便局に急ぎましょう。

前号でもお伝えしたように、今週から年末までは Plus Column はお休みし、週 2 回過去問を配信していきます。過去の間違った選択肢が、数年後に正解の選択肢に変えて出題されることがあります。選ばなかった選択肢のどこを直せば適切になるか、合わせて考えてください。皆さんの強みになります。

Plus Quiz は、「人体の構造と機能及び疾病」（現、医学概論）から「DSM-5 の診断」を取りあげます。新出題基準における頻出項目も確認していきます。

■Plus Quiz・・・・・・・・

【第 33 回問題 6】次のうち、精神疾患の診断・統計マニュアル（DSM-5）において、自閉スペクトラム症（ASD）と診断するための症状に含まれるものとして、正しいものを 1 つ選びなさい。

1. 同一性への固執
2. 精神運動制止
3. 陰性症状
4. 気分の高揚
5. 幻覚

正答と解説は最後に記載してあります。

■Yoseijo Info・・・・・・・・

- ・(35 期生) 住所変更後、変更届を提出していない場合はご提出ください。
- ・(35-36 期生) 教育訓練給付制度（専門実践教育訓練）の支給希望の方へ

申請書類一式は原則として、再発行はできませんので、お取り扱いにはご注意ください。

本養成所からの申請書類発行のため、「受給資格者証と公的身分証明書のコピーの提出」及び「レポートの提出」「スクーリングへの出席」「授業料の納入」が必須となります。

※本養成所受講認定基準を満たす支給希望者には、10 月末日付けで、支給申請書類一式を送付いたします。

お手元への到着は 11 月上旬頃の予定です。今しばらくお待ちください。

- ・受講の手引の表紙裏（表紙の次のページ）に“レポート作成・提出チェックリスト”があります。
レポートの作成・提出の前に必ず確認してください。

■Test Info・・・・・・・・

国家試験に関する情報をお届けします

- ・第 37 回国家試験は、令和 7 年 2 月 2 日（日）です。

詳しくはこちら→<https://a02.hm-f.jp/cc.php?t=M1380140&c=3246&d=99c7>

※試験時間、試験科目（午前・午後の内訳）が公開されました。

- ・第 37 回国家試験から適用する社会福祉士国家試験合格基準並びに総試験時間数が公表されました。

詳しくはこちら→<https://a02.hm-f.jp/cc.php?t=M1380141&c=3246&d=99c7>

- ・日本ソーシャルワーク教育学校連盟主催の全国統一模擬試験のご案内です。

詳しくはこちら→<https://a02.hm-f.jp/cc.php?t=M1380142&c=3246&d=99c7>

※申し込み受付期間は終了しています。

■Plus Info・・・・・・・・

その他の情報をお届けします

・日本知的障害者福祉協会では様々な情報を発信しております。

詳しくはこちら→<https://a02.hm-f.jp/cc.php?t=M1380143&c=3246&d=99c7>

■Back Number

過去のバックナンバーはこちら→<https://a02.hm-f.jp/cc.php?t=M1380144&c=3246&d=99c7>

■Plus Column

年末まで休載します。

【Plus Quiz 正答と解説】

医学概論の出題基準では、「国際生活機能分類（ICF）」「疾病と障害及びその予防・治療・予後・リハビリテーション」そして、精神疾患の診断・統計マニュアル（DSM-5）を含む「障害の概要」が頻出です。特に、障害分野、高齢分野に従事している方は、身近な状況と結び付け確かな知識にしてください。

DSM-5の診断基準は、統合失調症、自閉スペクトラム症、双極性障害（躁状態）、物質関連障害及び嗜好性障害、注意欠如・多動症、神経発達障害群/神経発達障害群と第28回からほぼ毎年出題されています。社会で取り上げられることが多い障害の診断基準について問われています。

新たな出題基準では、「病変の成立機序」は確認しておきましょう。特に炎症の「ケルスの四徴候」、急性炎症と慢性炎症、変性の退行性と進行性、虚血の血栓と塞栓、免疫反応の抗原と抗体は説明できるようにしてください。共通テキスト1第4章第1節の2の3ページが該当します。

1. ○ASDの診断は、社会性の障害、コミュニケーションの障害、想像性の障害（こだわりにより他のことに興味を示さなくなるような状況）というウイングの三つ組みで診断されてきました。DSM-5では、三つ組のうち社会性とコミュニケーションの障害がまとめられて「社会的コミュニケーションおよび相互関係における持続的障害」となり、「限定された反復する行動・興味・活動」と2つの診断基準になりました。
2. ×精神運動制止は、気分障害のうつ病エピソードのひとつです。精神運動制止とは、思考や決断力が鈍くなり、動作がゆっくりになったり何かすることが億劫であったり、何もする気が起きなかったりする状態をさします。
3. ×陰性症状は、統合失調症の診断基準のひとつです。陰性症状には意欲や自発性の低下、ひきこもること等があります。
4. ×気分の高揚は、気分障害の躁病エピソードのひとつです。躁病エピソードには、他に開放的、易怒的、異常で持続的な活動亢進等があります。
5. ×幻覚は、統合失調症の診断基準のひとつです。幻覚は、妄想、顕著な思考障害、緊張病性の行動等とともに陽性症状のひとつです。

※掲載内容の転載・再配布はご遠慮ください。

※メール内容に対する個別の対応は行っておりません。

※問い合わせ等については社会福祉士養成所ホームページより行えます。

〒105-0013 東京都港区浜松町 2-7-19 K D X 浜松町ビル 6F

Copyright2016 YoseijoNewsplus